

合川中 絆 山田町

被災地に まと火ともす

住民多数 訪れる 仮説住宅で 激励も

北秋田市の合川中学校(小等原茂人校長)の生徒や住民約50人が12日から泊3日の日程で岩手県山田町を訪問し、伝統行事の「まと火」ともし、東日本大震災の犠牲者の霊を供養した。

まと火は13日に山田北小学

校の駐車場で行われた。約1200名の長きにわたって、たいまつがともされた。阿仁川の土手で行われる本番の10分の1の規模だが、暗闇に「つなぐ」の文字が浮かび上がった。

まと火の点火に先立って、生徒たちは周辺の3カ所の仮設住宅約500件を訪問し、被災者たちを励ましなが

た住民にふるまった。山田町観光協会もホームページにお知らせを掲載するなど協力。だまこ鍋は「売切れ」となった。

まと火は毎年お盆の14日夜に開かれる先祖供養の伝統行事。開催に合川中も協力している。震災後は先祖とともに震災犠牲者の供養も兼ねて行っていることから、被災地訪問を望む声が地域にあった。

今回は県の「子どもふるさと交流推進事業」を活用し、訪問が実現した。

生徒らは18日に市役所やJAを訪問し、成果を報告する

を予定。派遣期間11日の5泊6日。年との交流、文化問、産業施設での体験などを予定している。

(航空運賃、宿泊料、現地交通費)は市

応募資格は市内の中学1年から高で、保護者の同意が月30日に締め切つたに対し2人だけのため期間を延長した。8人の応募となつた。18日に面接を行い、26日に予定してい

週末ネイチ
クラブ体験

森吉山
鳥獣セン

北秋田市の森吉山センター運営協議会(津谷永光市長)は、17日週末ネイチャー体験教室を開設して、時間は午前10時半まで。参加は無料。期4日まで。問い合わせ秋田自然保護官018-8607-85



まと火に点火する合川中生徒(岩手県山田町)

大きなイモに歓声

比内養護 たかのす 園児と 一緒に収穫

北秋田市の比内養護学校たかのす分校の児童と南鷹巣保育園の園児が15日、サツマイモの収穫を行った。写真。児童と園児は春に一緒に植えたサツマイモを掘りながら交流した。

今年から行われている同校の交流活動でこの日が2回目。6月にたかのす分校前の畑に植えたサツマイモ



収穫方法を学んだ後に畑に移動。サツマイモのつるを見つけては引っ張ったり、掘ったりして収穫した。大きく成長したサツマイモが土の中から出てくると歓声が上がった。

期間延長で定員 超過し18日面接

青少年国際
交流研修団

北秋田市は、中国に中高生を派遣する青少年国際交流研修団の参加者募集を締め切つた。定員に満たないため、募集期間を延長した結果、定員5人に対し、8人が応募した。18日に面接を行う。

応募資格は市内の中学1年から高で、保護者の同意が月30日に締め切つたに対し2人だけのため期間を延長した。8人の応募となつた。18日に面接を行い、26日に予定してい